

事後評価報告書

令和 7 年 8 月 4 日 (月)

研究種別	総理研研究	
研究課題名	富士山噴火の減災に資する実験教材の開発	
研究期間	令和 4 年度 ~ 令和 6 年度	
	評価項目	評価点
1	研究目標の達成度	3.8

[評価所見]

- 研究開発は計画通り、あるいはそれ以上の成果を上げており、目標はほぼ達成された。
- 共同研究体制により研究が効果的に進み、共同研究者の成果をよく取り入れている。
- 教材（特に溶岩流実験）は、ビデオ教材を含めてパッケージ化されており、教員にとって使いやすい形で整備されている。
- 成果の活用がすでに始まっており、現場での改善点も見出されている。
- 教材の完成度向上のためには、民間企業との連携・協力が有効である。
- 山梨県内の小中学校を中心に、県内外への普及を、例えばSNSやYouTubeなどにより積極的に進めることが期待される。
- 教育現場での活用戦略について、県として積極的な検討が求められる。